

## お礼



- [1] ポリオの写真でお馴染みのセバスチャン・サルガドのテーマ「アフリカ」の写真展が東京都写真美術館で12月13日迄開催されましたが、この企画に主催者より協力の要請があり第2750地区は協賛として受け入れました。皆様のクラブには地区社会奉仕委員会が窓口となり、ご案内致しましたところ、30クラブ340枚の入場券購入のご協力を頂きました。
- [2] 地区国際友愛委員会が窓口となり、ご案内を致しました韓国・台湾の会合に盛大なご参加を頂きました。  
○9月4日の韓日親善会議(ソウル)に日本より690名、その内第2750地区から120名が参加されました。  
○10月10日の台日親善会議に第2580地区が主体であったが当地区からも10数名の方が参加。  
○12月4・5日の第3650地区年次大会にも、なんと40名の会員が参加し、第3650地区の要請に応じて頂いた。

## 各委員会の活動状況

## 《職業奉仕部門》

クラブ・グループの要請に基づき卓話応援、およびインターンシップ、課外授業に職業奉仕としてクラブが熱心に参加され、新世代の人達に強力な援助者としての活動されたが、地区委員会も積極的に協力した。

## 《社会奉仕部門》

クラブの社会奉仕活動の実態調査をアンケートで実施し、結果をクラブに報告済みで、今後の活動にお役立て頂けると思います。

野川の清掃活動等、地区ホームページ(web：地区活動通信)をご参照下さい。

## 《国際奉仕部門》

WCS事業で各クラブ申請のMGが殆ど認められた。

厳しいR財団の財政状況の中でクラブの適切な奉仕活動が裏つけられた。

○ミクロネシア連邦を中心に水浄化機器の支援や、焼却炉設置支援等。

○クラブの国際奉仕事業の実態調査を実施し、結果を報告致しました。

○日韓短期交換委員会の主活動である、第3650地区とのIAによる相互交換訪問活動は7月19日から8月1日に実施し、感動的に成功裡に完了した。

## 《新世代奉仕部門》

国際ロータリーのプログラムである、IA、RA、RYLA、青少年交換の各活動は決められているその内容、計画を順調に進めております。各委員会共非常に忙しく又クラブの大変な支援も頂きながらの活動は頭の下がる思いです。

問題が無い訳でも無く、IAの次年度年次大会の主催校、ホスト・クラブが未だ決まっておらず、現在顧問教師会及び地区IA委員会が解決に真剣に取り組んでおりますので、近日中に良い結果が出るでしょう。

## 情報

クラブが奉仕事業を考える上で、手続要覧の第4章(p73)「奉仕の機会」に関する項目を良く利用されると思います。章典では第42条で、この項目がRI理事会でゆれており、2008年7月～11月の審議で削除と発表されましたが、2009年1月の理事会で復活となりました。

項目には「危機下の児童」「障害者」「健康管理」「国際理解と親善」「識字・計算力向上」「人口問題」「貧困と飢餓救済」「環境保全」「都市部の関心事項」の9項目あり、私達が奉仕を考える上での大事な指針であります。

